

14  
58

昭和二年八月

# 畜産試験場彙報

第二號

牛の肥育に關する試験(朝鮮牛)



# 始



14.21-581



昭和二年八月

本試験は元技師八鍬儀七郎同飯田吉英及元囑託松室秀夫三氏か曩に施行せる牛の肥育に關する試験  
第一回及第二回に引續き行へるものにして畜牛肥  
膾上有益なる参考資料なるを以て茲に上梓せり

農林省 畜産試験場



「多寄贈本」

# 畜産試験場彙報 第二號

## 牛の肥育に關する試験 第三回 (朝鮮牛)

### 目次

第一	緒言	一頁
第二	供試牛	三頁
第三	飼料及飼養法	四頁
第四	管理	一三頁
第五	生體量	一四頁
第六	増體量と飼料價額及澱粉價	一九頁
第七	屠殺及解體	二一頁
第八	總括	三七頁

### 第一 緒言

本試験は大正九年以來二回に亘り施行せる和牛の肥育試験(畜産試験場報告第一卷第三號)に繼續施

牛の肥育に關する試験

行せるものにして前回に於けるか如く朝鮮牛にケルネル氏肥育牛飼養標準に據り所定の飼料を給與せる場合如何なる肥育状態を呈するかを觀察し且つ屠肉に關する諸種の事項を精査し以て朝鮮牛の肉用としての價値を知り併て肉牛改良の資に供せんことを期せり

古來朝鮮牛の中國四國及九州の各地方に輸入せられしもの尠なからさりしか明治十七年下關及大分に朝鮮牛の輸入を營業とするものあるに及ひて逐年其の需要を増加し主として農耕及運搬の用に供せられし其の分布は未だ遠く前記の地域を出づるに至らざりき然るに近年我邦に於ける牛肉の需要増加し其の價格甚しく騰貴するに及ひて本種の移入は益々盛となり其の需要殆んど全國に普く其の用途も亦使役の外肉用として一般に重視せらるゝに至れり從て移入頭数は年々増加し大正九年には六萬餘頭に上り明治四十三年以降十一ヶ年間の累計實に二十三萬五千頭の多數に及へり

朝鮮牛の移入せらるゝは多く二才乃至五才のものにして多くは移入後數年間和牛と等しく農耕又は輓曳の用に供せられつゝ相當に肥育せられたる後屠場に送致せらる而して斯の種肥育牛は其の肉質に於て和牛と異なる所なきの故を以て和牛肉として取扱はるゝを普通とす從て本種が肉用として需せらるゝ程度は之を精知し得されども東京大崎屠場に於ける屠殺牛の五割乃至七八割は實に斯る朝鮮牛なるか如き事實に徴するも本種が我肉市場に於て如何に重要な地位を占むるに至れる哉を窺知するに難からず而して將來益々本種の肉用としての需要を増加す可き趨勢にあるを察すへし之れ第三回肥育試験用として本種を選ひたる所以なり

## 第二 供試牛

本試験に供したる朝鮮牛は三頭にして其の年齢性質榮養状態毛色及特徴を擧ぐれば次の如し

供試牛	性	年齢	飼養地	性質	榮養状態	毛色	特 徴
第一號	牝	四才	畜産試験場	温良	中	赤	背旋及肩旋欠
第二號	牝	五才	茨城縣東茨城郡	神經質	瘡	淡赤	下腹白斑、背毛端白、肩旋欠
第三號	牝	六才	茨城縣東茨城郡	神經質	瘡	赤	腹部白斑、面旋及肩旋欠

供試牛の生産地は不明なれども其の體型より推察するに孰れも朝鮮北部地方の産なるか如し供試牛第一號は大正九年東京大崎家畜市場に於て購入し爾來當場に飼養し堆肥試験に供用せもるのにして本試験を行ふに當り大正十年十月一日肥育舎に牽入れたる當時生體量八十四貫榮養状態中位性質極めて温良にして肥育に適するもの認めたり第二號牛及第三號牛は茨城縣東茨城郡の農家に於て農耕に使役中のものを購入せるものにして大正十年十月二十八日本場に牽入れたり當時の生體量は夫々八十一貫及七十貫にして孰れも甚しく瘡瘦し前者は四肢稍々長く後者は他に比し些か神經過敏なりき

十二月二十四日試験開始前各供試牛の測尺及秤量を行へる結果は次の如し

供試牛體	高	十字部高	胸	幅	胸	圍	腰角	幅	腕	幅	生體量 三日間 平均
第一號	三、九六 <sup>尺分</sup>	三、九六 <sup>尺分</sup>	一、一五 <sup>尺分</sup>	一、一五 <sup>尺分</sup>	五、四七 <sup>尺分</sup>	一、四〇 <sup>尺分</sup>	一、三〇 <sup>尺分</sup>	一、三〇 <sup>尺分</sup>	一、三〇 <sup>尺分</sup>	八二、〇〇 <sup>斤</sup>	
第二號	四、一三 <sup>尺分</sup>	四、一四 <sup>尺分</sup>	一、一五 <sup>尺分</sup>	一、一五 <sup>尺分</sup>	五、五五 <sup>尺分</sup>	一、四〇 <sup>尺分</sup>	一、三〇 <sup>尺分</sup>	一、三〇 <sup>尺分</sup>	一、三〇 <sup>尺分</sup>	八四、六三 <sup>斤</sup>	
第三號	三、八五 <sup>尺分</sup>	四、〇〇 <sup>尺分</sup>	一、〇〇 <sup>尺分</sup>	一、〇〇 <sup>尺分</sup>	五、三三 <sup>尺分</sup>	一、三五 <sup>尺分</sup>	一、三〇 <sup>尺分</sup>	一、三〇 <sup>尺分</sup>	一、三〇 <sup>尺分</sup>	七七、三三 <sup>斤</sup>	

右に依れば供試牛は孰れも其の體格朝鮮牛の中等に位するものと見るを得へし

供試牛には孰れも野乾草及稻藁を給與し生體量を略々一定に保ち試験開始前一週間は豫備飼育として本試験に給與すへき濃厚飼料の少量を給與せり又肥育牛舎は前回と同様二房を使用し第一號牛を第一區に第二號牛及第三號牛を第二區に繋留せり

### 第三 飼料及飼養法

飼料は前回と同じく稻藁、野乾草、米糠、玉蜀黍及大豆粕を用ゐる全肥育期間を十六週と豫定し之を四週を一期とする四期に分ち期により飼料の配合を適宜變更して飼育したり然るに第四期に至りて各牛は孰れも増體量少く却て減量するの虞ありしを以て十五週を以て終了せり

飼料中野乾草、稻藁及米糠は當場附近生産のものにして大豆粕は豊年印、玉蜀黍は當場生産のものをを用ゐたり此等各種飼料は豫め當場化學部に於て分析を行ひ其の成分を定量し消化率は主として西ヶ

原農事試験場に於て行ひたる試験成績に據れり

今各飼料の成分及可消化養分を擧ぐれば次の如し

第一表 飼料成分 (百分率)

野乾草	稻藁	米糠	玉蜀黍	大豆粕
八八・二	八七・八六	三三・八九	八五・八八	八九・二七
一〇・〇六	四・五五	八・四二	一〇・三〇	四九・七五
八・九七	四・〇六	七・八五	九・六三	四八・〇三
二・五二	一・二四	七・八〇	四・〇八	一・三三
三〇・三六	四〇・四八	一五・八五	三・〇四	六・〇四
三三・五六	二五・六三	一〇・八〇	六七・二〇	二五・三三
二一・六〇	一五・九六	五・二〇	一・二六	六・一三

米糠の純灰分は八・八%なりしに粗灰分著しく多きは搗砂を多量に含有せるに因る

第二表 飼料可消化養分含有量及澱粉價 (百分率)

野乾草	稻藁	米糠
五・二七	一・五〇	六・〇六
四・一八	〇・九二	五・四九
一・〇一	〇・三二	七・四九
一八・六五	二〇・五二	二・二二
二二・〇八	一〇・七五	五・二二
二七・九七	九・五三	三六・七三

玉蜀黍	七・五七	六・九〇	三・四八	〇・九五	五九・〇七	七・八九
大豆粕	四九・七七	四四・〇五	一・三二	五・九八	二五・三三	七・八四

飼料配合法

本試験には前記五種の飼料を用る之をケルネル氏肥育牛飼養標準に基き配合せり  
 全期間を一期四週間の四期に分ち各期に依りて生體量の増減殘食の有無體勢の如何等を參酌し第  
 三乃至第六表に示すか如く各種飼料の配合割合を適宜増減按配せり即ち第一期に於ては濃厚飼料に  
 比して粗飼料の量を多くし期の進むに従ひ粗飼料の比を小ならしめ第三期に於ては約半量となせる  
 か其の末期に至りては各牛共に食慾次第に減退したるを以て第四期に於ては全乾燥物量を減するこ  
 共に飼料の大部分を濃厚飼料と爲したり而して稻藁は本試験開始と同時に三頭共に全く採食せず第  
 一期終末に至るも其の大部分を殘留せるを以て第二期以後に於ては稻藁を除きたる四種を以て配合  
 せり而して各期間に於ける給與飼料の營養率は一對七乃至一對八なり

第三表 第一期配合飼料 (生體量一〇〇貫匁に對し一日給與量)

野乾草	給與量	全乾燥物	可消化			濃厚飼料と粗飼料との比	營養率
	1,100 貫匁	1,057.3 貫匁	粗蛋白質	粗脂肪	無窒素浸出物及粗纖維		
稻藁	400 貫匁	351.4 貫匁	5.6 貫匁	2.0 貫匁	124.7 貫匁	3.6 貫匁	38.1 貫匁
計							

米糠	給與量	全乾燥物	可消化			濃厚飼料と粗飼料との比	營養率
	80 貫匁	75.1 貫匁	4.9 貫匁	6.0 貫匁	22.6 貫匁		
玉蜀黍	1,100 貫匁	944.7 貫匁	83.3 貫匁	38.3 貫匁	60.2 貫匁	75.9 貫匁	82.8 貫匁
大豆粕	60 貫匁	53.5 貫匁	27.5 貫匁	0.8 貫匁	18.8 貫匁	26.4 貫匁	43.7 貫匁
計							

第四表 第二期配合飼料 (生體量一〇〇貫匁に對し一日給與量)

野乾草	給與量	全乾燥物	可消化			濃厚飼料と粗飼料との比	營養率
	1,100 貫匁	949.2 貫匁	58.0 貫匁	11.1 貫匁	43.7 貫匁		
米糠	110 貫匁	112.7 貫匁	7.3 貫匁	9.0 貫匁	18.9 貫匁	6.6 貫匁	44.1 貫匁
玉蜀黍	1,400 貫匁	1,101.3 貫匁	106.0 貫匁	48.7 貫匁	84.0 貫匁	96.6 貫匁	1,034.5 貫匁
大豆粕	85 貫匁	75.8 貫匁	38.9 貫匁	1.1 貫匁	26.6 貫匁	37.4 貫匁	61.9 貫匁
計							

第五表 第三期配合飼料 (生體量一〇〇貫匁に對し一日給與量)

野乾草	給與量	全乾燥物	可消化			濃厚飼料と粗飼料との比	營養率
	100 貫匁	793.0 貫匁	47.5 貫匁	9.1 貫匁	35.7 貫匁		
計							

牛の肥育に關する試験

計	米 糠	玉蜀黍	大豆 粕
	100	1700	70
	93.9	1460.0	62.4
	16.1	218.7	33.0
	7.5	59.2	0.9
	15.7	100.3	21.9
	5.5	117.3	30.8
	36.7	1156.1	51.0
	5.5	115.5	19.2
	0.4	0.4	0.4
	7.4	0.4	0.4

第六表 第四期 配合飼料 (生體量一〇〇貫匁に對し一日給與量)

野 乾 草	米 糠	玉 蜀 黍	大 豆 粕	計	給與量	全乾燥物	消化			純蛋白質	澱粉價	濃厚飼料 と粗飼料 との比	榮養率
							粗蛋白質	粗脂肪	無窒素浸出物及粗纖維				
500	180	1800	60			2110.9	201.1	81.9	1336.3	181.4	1579.7	0.35	7.4
貫匁	貫匁	貫匁	貫匁										
440.6	169.0	1545.8	53.5			2074.9	198.7	51.1	1283.3	264.4	1330.0		
26.4	10.9	136.3	27.5			211.1	81.9	19.8	136.3	181.4	1579.7		
貫匁	貫匁	貫匁	貫匁										
198.7	13.4	283	0.8			198.7	13.4	0.8	283	0.8	283		
20.9	9.9	124.2	26.4			20.9	9.9	26.4	26.4	26.4	26.4		
貫匁	貫匁	貫匁	貫匁										
139.9	66.1	1300.0	43.7			139.9	66.1	43.7	1300.0	43.7	1300.0		
貫匁	貫匁	貫匁	貫匁										

飼料給與法

飼料の給與は全期を通して一様に之を行ひ粗飼料と濃厚飼料とは別々に給與せり野乾草は之を刻ます其の儘一日二回に分與せり即ち朝濃厚飼料を給與せる後に給與日量の約三分の一を夕飼後に残りの三分の二を投與せり第一期に於ける稻藁も之を刻ます午前十一時半其の全量を投與せり

濃厚飼料にありては玉蜀黍及大豆粕を豫め粗碎し置き米糠と共に各期に於ける飼料標準に基き各週に於ける生體量に應じて毎回給與前之を秤量し食鹽と共によく混合せしめ丸形の飼槽に入れ毎日午前七時及午後四時の二回に給與したり

食鹽は第一期乃至第三期に於ては毎日五乃至十匁を第四期に於ては各牛の食慾の如何により十五匁迄給與したり

飲水は午前九時午後二時の二回に水槽より任意に之を攝らしめたり  
給與せる飼料は稻藁を除く外各供試牛共其の全部を嗜食し飼槽より溢落せるものをも自ら拾食せるか第三期の終末に至り第二號牛は稍々食慾減退の徴候を呈せるを以て第四期に於ては給與乾燥物を減すると共に野乾草の給與量を著しく減少したり試験最終の二週間は供試牛孰れも食慾の減退を來せるも給與量を稍々減し食鹽を増加し且採食すへき時間を延長したるか爲漸く給與全量を採食し全期を通し殘食を生せるは第一期に於ける稻藁のみなりき  
今各供試牛に就き各週に於ける飼料給與量即ち採食量を擧ぐれば次の如し

第七表 每週採食量

其の一 第一號牛

週次	年月日	年月日	乾	草	稻	藁	米	糠	玉	蜀	黍	大豆	粕	計
第一週	10,11,14	11,13,16	0	7,154		真一 7,154	476	6,559	6,371	6,391	6,573	535	350	14,175
第二週	11,13,16	11,13,16	0	6,972		真一 6,972	462	6,391	6,391	6,391	6,391	535	350	14,175
第三週	11,13,16	11,13,16	0	7,175		真一 7,175	476	6,573	6,573	6,573	6,573	535	350	14,175
第四週	11,13,16	11,13,16	0	6,776		真一 6,776	476	6,391	6,391	6,391	6,391	535	350	14,175
第五週	11,13,16	11,13,16	0	6,853		真一 6,853	476	6,391	6,391	6,391	6,391	535	350	14,175
第六週	11,13,16	11,13,16	0	6,776		真一 6,776	476	6,391	6,391	6,391	6,391	535	350	14,175
第七週	11,13,16	11,13,16	0	6,979		真一 6,979	476	6,391	6,391	6,391	6,391	535	350	14,175
第八週	11,13,16	11,13,16	0	7,004		真一 7,004	476	6,391	6,391	6,391	6,391	535	350	14,175
第九週	11,13,16	11,13,16	0	6,048		真一 6,048	476	6,391	6,391	6,391	6,391	535	350	14,175
第十週	11,13,16	11,13,16	0	6,160		真一 6,160	476	6,391	6,391	6,391	6,391	535	350	14,175
第十一週	11,13,16	11,13,16	0	6,342		真一 6,342	476	6,391	6,391	6,391	6,391	535	350	14,175
第十二週	11,13,16	11,13,16	0	6,447		真一 6,447	476	6,391	6,391	6,391	6,391	535	350	14,175
第十三週	11,13,16	11,13,16	0	3,584		真一 3,584	476	6,391	6,391	6,391	6,391	535	350	14,175
第十四週	11,13,16	11,13,16	0	3,549		真一 3,549	476	6,391	6,391	6,391	6,391	535	350	14,175
第十五週	11,13,16	11,13,16	0	3,437		真一 3,437	476	6,391	6,391	6,391	6,391	535	350	14,175
合計				91,532		真一 91,532	4,800	63,910	63,910	63,910	63,910	5,350	3,500	258,010

其の二 第二號牛

週次	年月日	年月日	乾	草	稻	藁	米	糠	玉	蜀	黍	大豆	粕	計
第一週	10,11,14	10,11,14	0	7,264		真一 7,264	483	6,644	6,644	6,644	6,644	535	350	14,111
第二週	11,13,16	11,13,16	0	6,977		真一 6,977	483	6,644	6,644	6,644	6,644	535	350	14,111
第三週	11,13,16	11,13,16	0	7,333		真一 7,333	483	6,644	6,644	6,644	6,644	535	350	14,111
第四週	11,13,16	11,13,16	0	7,308		真一 7,308	483	6,644	6,644	6,644	6,644	535	350	14,111
第五週	11,13,16	11,13,16	0	6,853		真一 6,853	483	6,644	6,644	6,644	6,644	535	350	14,111
第六週	11,13,16	11,13,16	0	6,783		真一 6,783	483	6,644	6,644	6,644	6,644	535	350	14,111
第七週	11,13,16	11,13,16	0	7,056		真一 7,056	483	6,644	6,644	6,644	6,644	535	350	14,111
第八週	11,13,16	11,13,16	0	5,936		真一 5,936	483	6,644	6,644	6,644	6,644	535	350	14,111
第九週	11,13,16	11,13,16	0	6,013		真一 6,013	483	6,644	6,644	6,644	6,644	535	350	14,111
第十週	11,13,16	11,13,16	0	6,377		真一 6,377	483	6,644	6,644	6,644	6,644	535	350	14,111
第十一週	11,13,16	11,13,16	0	6,300		真一 6,300	483	6,644	6,644	6,644	6,644	535	350	14,111
第十二週	11,13,16	11,13,16	0	3,544		真一 3,544	483	6,644	6,644	6,644	6,644	535	350	14,111
第十三週	11,13,16	11,13,16	0	3,556		真一 3,556	483	6,644	6,644	6,644	6,644	535	350	14,111
第十四週	11,13,16	11,13,16	0	3,542		真一 3,542	483	6,644	6,644	6,644	6,644	535	350	14,111
第十五週	11,13,16	11,13,16	0	3,545		真一 3,545	483	6,644	6,644	6,644	6,644	535	350	14,111
合計				91,945		真一 91,945	4,800	63,910	63,910	63,910	63,910	5,350	3,500	258,649

其の三 第三號牛

牛の肥育に關する試験



週次	年月日—年月日	乾	草	稻	粟	米	糠	玉蜀黍	大豆粕	計
第一週	10、12、14—10、12、16	六、四六二	六、三〇〇	(二、一五六)	四、四四	五、九三三	三、三三	三、三三	一三、一三九	
第二週	11、11—11、13	六、五〇〇	六、五六六	(二、一〇〇)	四、一〇	五、七七五	三、一五	三、一五	一三、一〇〇	
第三週	11、17—11、19	六、五六六	六、五六六	(二、一九一)	四、五三	六、〇一〇	三、三九	三、三九	一三、〇八	
第四週	11、24—11、26	六、四六八	六、四六八	(二、一七四)	四、四四	五、九二九	三、三三	三、三三	一三、〇八一	
第五週	11、31—12、3	六、三四四	六、三四四	(二、一五六)	四、四四	八、〇三六	四、九〇	四、九〇	一五、五二六	
第六週	12、6—12、8	六、一六〇	六、一六〇		六、七二	七、八四〇	四、七六	四、七六	一五、一四八	
第七週	12、13—12、15	六、三三四	六、三三四		六、八六	八、〇三六	四、九〇	四、九〇	一五、五二六	
第八週	12、20—12、22	六、五五二	六、五五二		七、四四	八、三三七	五、〇四	五、〇四	一六、一〇七	
第九週	12、27—12、29	五、三九七	五、三九七		六、〇二	一〇、一九九	四、一〇	四、一〇	一六、六二八	
第十週	12、31—1、2	五、三九七	五、三九七		六、〇二	一〇、一九九	四、一〇	四、一〇	一六、六二八	
第十一週	1、3—1、5	五、六四九	五、六四九		六、三〇	一〇、六七五	四、四一	四、四一	一七、三九五	
第十二週	1、10—1、12	五、八三一	五、八三一		六、五一	一一、〇一一	四、五五	四、五五	一七、九四八	
第十三週	1、17—1、19	三、八二五	三、八二五		一、一四八	一一、四六六	三、八五	三、八五	一六、一八四	
第十四週	1、24—1、26	三、二九七	三、二九七		一、一九〇	一一、八七二	三、九九	三、九九	一六、七五八	
第十五週	1、31—2、2	三、一三三	三、一三三		一、一四八	一一、四九四	三、八五	三、八五	一六、二二九	
合計		八三、〇八三	八三、〇八三	(二、一〇〇)	一〇、四五八	一三三、八一一	六、一五三	六、一五三	一三三、八〇九	

備考 右三表に於ける稻粟の括弧内数字は給與量とす

### 第四管理

本試験に用ゐたる牛舎は長さ八間幅三間半南北に長く東西に短し其の内部東側に幅一間半の通路あり之に接して四房を設く各房は高さ九尺間口二間奥行二間なり入口に近き南方の二房は飼料の貯藏秤量及調製等の作業室に充て第三房を第一區とし供試牛第一號を、第四房を第二區とし之に第二號及第三號を繋養せり房床は混泥土にして四壁は板張なり前面の入口に四尺幅の廻し戸を設け前面の上部には硝子窓後面の下部には無双開閉戸を設け換氣に便ならしむ尙前後兩側には適宜蓆菰を張り板隙間より賊風の侵入を遮り防寒の設備をなせり房内は薄暗くし成るべく外界の刺戟を避け努めて動物を安靜ならしめたり蓆草には稻粟を用る毎日一頭に對し一貫五百匁乃至二貫匁つゝ投與せり供試牛は綱を以て緩く房内の柱に繋ぎ起居自由ならしめたるも蓆草を採食し得ざる様にし飼料の給與房内の掃除、蓆草の取換、動物の手入及運動等は毎日一定の時間に之を行ひ常に動物の健康状態に注意し尙各週の初め給飼前體重を秤量せり右運動につきては第一期及第二期中は毎日午後一時半より約三十分間場内道路にて牽運動を爲さしめ第三期に入りて漸次其の時間を短縮し同期の後半よりは全く牽運動を廢したり尙全期を通し毎朝給飼後舎内掃除の際約三十分間舎外に繋留し直接外氣に浴せしめたり

天候は概ね晴天なりしか二月初中旬に於て數回の降雨あり降雪は十二月乃至三月に亘り數回あり

例年に比し其の量多かりき本試験は一般に行はるゝか如く冬期に行ひたるを以て肥育舎内の保温には蓆菰を以て間隙を張り尙窓戸の開閉に依りて温度の調節を計りたり

房内の温度は午前十時に測れるもの概ね華氏五十度内外にして最低温度は一、二兩月にありて氷點内外に下りたるこゝ數回なり最高温度は二月下旬に現はれ七十度以上に及ひたるこゝあり概して一月及三月初旬に於て寒氣厳しかりき今肥育舎内の温度を掲ぐれば次の如し

第八表 肥育舎温度表

日	第一區			第二區		
	平均	最高	最低	平均	最高	最低
大正十年十二月	四二・四	五二・八	三八・七	四二・三	五一・九	三七・八
大正十一年一月	三九・五	四七・九	三五・六	三九・四	四八・三	三三・〇
同 二月	四九・三	五五・六	四五・七	四九・七	五五・六	四三・〇
同 三月	四七・五	五七・二	四五・二	四八・四	五七・五	四四・五
同 四月	五八・六	六二・六	五五・〇	五八・〇	六一・四	五四・〇
平均	四四・九	五二・一	四二・七	四六・二	五四・一	四二・四
			最高 七二・〇			最高 七八・〇
			最低 三一・五			最低 三三・〇

第五表 生體量

肥育試験に於て試験動物の生體量の増減を知るは屠肉検査と共に最重要なる事項に屬す然るに動物殊に反芻類に於ては消化管に於ける内容量の變化等に依りて其の生體量は常に一樣なるものにあらず従て或る時期に於て眞の生體量を知るは極めて困難なり故に本試験に於ては其の近似値を得るか爲前後三日間連續して各試験牛を秤量し其の平均數を以て第二日目の生體量と見做し試験當初並終末に於ける生體量を定めたり其の他各時期に於ける肥育の状況を知り且飼料の給與量を定めんか爲各週の始め一回體重を秤量したり而して之等秤量は毎回午前六時半朝飼給與前に行ひたり今各期間に於ける生體量變化の状況を表示すれば次の如し

第九表 生體量の増減

其の一 第一號牛

週次	年月日	生體量	前週との比較増減	全増體量	平均一日増體量	原體量に對する體量増加の百分率
試験開始	一〇、三、二四	八、二七〇	—	—	—	—
第一週	一、三、三三	八、三〇〇	三〇	三〇〇	三三	〇・三六
第二週	一、三、七	八、三〇〇	—	三〇〇	三二	〇・三六
第三週	一、三、一四	八、五〇〇	二〇〇	六〇〇	二二	三・二六
第四週	一、三、二二	八、八〇〇	三〇〇	九〇〇	二二	六・四一
第五週	一、三、二九	八、九〇〇	一〇〇	一、〇〇〇	二〇	七・六二

牛の肥育に關する試験

週次	年月日	生體量	前週との増減	全増體量	平均一日増體量	原體量に對する増體量の百分
第六週	二、二四	九〇、六〇〇	一、六〇〇	七、九〇〇	一八、二	九・五五
第七週	二、二二	九二、〇〇〇	一、四〇〇	九、三〇〇	一九、〇	一〇・二五
第八週	二、一八	九六、〇〇〇	四、〇〇〇	一三、三〇〇	二二、八	一六・〇八
第九週	二、一五	九七、八〇〇	一、八〇〇	一五、一〇〇	二四、〇	一八・二六
第十週	三、一四	一〇〇、七〇〇	二、九〇〇	一八、〇〇〇	二五、七	二二・七七
第十一週	三、一二	一〇一、三〇〇	一、六〇〇	一九、六〇〇	二五、五	二四・七〇
第十二週	三、一〇	一〇一、四〇〇	一〇〇	一九、七〇〇	二五、八	二四・八二
第十三週	三、一五	一〇一、三〇〇	一、一〇〇	一八、六〇〇	二四、〇	二三・四九
第十四週	四、一	九八、二〇〇	三、一〇〇	一五、五〇〇	一八、七	一八・七四
第十五週	四、一八	一〇一、三〇〇	三、一〇〇	一八、六〇〇	一七、七	二二・四九

其の二 第二號牛

週次	年月日	生體量	前週との増減	全増體量	平均一日増體量	原體量に對する増體量の百分
試驗開始	一〇、三、二四	八四、六三三				
第一週	一〇、三、三一	八二、六〇〇	二、〇三三	二、〇三三	二九、〇	二・四〇
第二週	一〇、三、二七	八七、二〇〇	四、六〇〇	二、五三七	二八、三	三・〇三
第三週	一〇、三、二四	八七、〇〇〇	二、一〇〇	二、三三七	二八、〇	二・八〇
第四週	一〇、三、三一	八九、〇〇〇	二、〇〇〇	四、三三七	二五、六	五・一六

週次	年月日	生體量	前週との増減	全増體量	平均一日増體量	原體量に對する増體量の百分
第五週	一、二八	八八、一〇〇	九〇〇	三、四六七	九、九	四・一〇
第六週	二、二四	九一、六〇〇	三、五〇〇	六、九六七	一六、六	八・三三
第七週	二、二二	九三、三〇〇	一、七〇〇	八、六六七	一七、七	一〇・二四
第八週	二、一八	九四、二〇〇	九〇〇	九、五六七	一七、一	一〇・三〇
第九週	二、一五	九五、四〇〇	一、二〇〇	一〇、七六七	一七、一	一〇・三二
第十週	三、一四	一〇一、一〇〇	五、八〇〇	一六、五六七	二二、七	一九・五八
第十一週	三、一二	一〇〇、〇〇〇	一、一〇〇	一五、三六七	二〇、〇	一八・一六
第十二週	三、一〇	一〇〇、四〇〇	四〇〇	一五、七六七	一八、八	一八・六三
第十三週	三、二五	一〇一、五〇〇	一、一〇〇	一六、八六七	一八、五	一九・九三
第十四週	四、一	一〇一、〇〇〇	二、一〇〇	一六、六六七	一七、〇	一九・五八
第十五週	四、一八	一〇二、九六七	一、六六七	一八、三三四	一七、五	二二・五四

其の三 第三號牛

週次	年月日	生體量	前週との増減	全増體量	平均一日増體量	原體量に對する増體量の百分
試驗開始	一〇、二、二四	七七、三三三				
第一週	一〇、三、三一	七七、〇〇〇	三、三三三	三、三三三	三〇、三	三・七七
第二週	一〇、三、二七	七八、一〇〇	一一、一〇〇	一〇、六七	三七、六	一・三八
第三週	一〇、三、二四	七〇、〇七	八、〇〇三	一三、三三	大	一七

牛の肥育に關する試験

第 十 五 週	第 十 四 週	第 十 三 週	第 十 二 週	第 十 一 週	第 十 週	第 九 週	第 八 週	第 七 週	第 六 週	第 五 週	第 四 週
四、八	四、一	三、五	三、八	三、二	三、四	二、五	二、八	二、二	二、四	一、六	一、三
九、〇〇〇	九、二〇〇	九、四〇〇	九、六〇〇	九、八〇〇	一〇、〇〇〇	一〇、二〇〇	一〇、四〇〇	一〇、六〇〇	一〇、八〇〇	一〇、〇〇〇	九、八〇〇
八〇〇	(一) 三、〇〇〇	(一) 三、一〇〇	(一) 三、二〇〇	(一) 三、三〇〇	四、〇〇〇	—	六〇〇	三、一〇〇	二、〇〇〇	二、〇〇〇	(一) 五、〇〇〇
一四、八六七	一四、〇六七	一七、〇六七	一三、八六七	一五、三六七	二二、五六七	八、五六七	八、五六七	七、九六七	四、八六七	二、八六七	四、八六七
一四三	一四四	一八八	一六五	二〇〇	一八〇	二二六	一五三	一六三	二一六	二二	一七四
一九・二七	一八・二四	二三・一三	一七・九八	一九・九二	一六・二九	一一・一一	一一・一一	一〇・三三	六・三二	三・七二	六・三二

第九表に示せる毎週の生體量は各一回秤量の結果なるも本表を以て略々肥育期間に於ける供試牛の體重變化の状況を察知し得へし  
 各供試牛は孰れも順當に其の體重を増加し全期を通し十四貫八百六十七匁乃至十八貫六百匁平均十七貫二百六十七匁を増加せり即ち全期百五日間に平均せる一日増加量八百四十二匁乃至百七十八匁平均百六十四匁にして體重の全増加量を原體重に比すれば一九・二七%乃至二二・四九%平均二一・一

%の増加となる

### 第六 増體量と飼料價額及澱粉價

本試験はもこ和牛の肥育試験第一回及第二回に引續き施行せるものにして所定の飼料を給與せる場合に於ける朝鮮牛の肥育状態を知るを以て目的となしたるか故に經濟的收支計算に重きを置く能はさりしを遺憾とするも茲に所要飼料費を算出すれば左の如し而して飼料價格は東京府下戸澤郡次氏(飼料問屋)に依り本試験期間中月別に調査せる市價なりとす

第十表 飼料月別價格

野 乾 草	稻 葉	米 糠	玉 蜀 黍	大 豆 粕	單 位	大正十年十二月	大正十一年一月	同 年 二 月	同 年 三 月	同 年 四 月
					100 貫	100 圓	100 圓	100 圓	100 圓	
100	100	100	100	100	100 貫	17.00	17.00	10.00	10.00	11.00
100	100	100	100	100	100 圓	11.00	13.00	17.00	13.00	11.00
100	100	100	100	100	100 圓	17.00	17.00	17.00	17.00	17.00
100	100	100	100	100	100 圓	26.57	26.57	26.57	26.57	26.57
100	100	100	100	100	100 圓	20.00	20.00	20.00	20.00	20.00
100	100	100	100	100	100 圓	20.00	20.00	20.00	20.00	20.00
100	100	100	100	100	100 圓	36.00	36.00	36.00	36.00	36.00

第十一表 採食飼料價額

牛に肥育の關する試験

供試牛	野	乾	草	稻	藁	米	糠	玉	蜀	黍	大豆	粕	計
第一號	171.73	0.37	195.16	43.00	269.6	42.00	269.6	269.6	269.6	269.6	269.6	269.6	81.630
第二號	173.38	0.37	195.87	42.00	270.8	42.00	270.8	270.8	270.8	270.8	270.8	270.8	81.630
第三號	155.80	0.28	177.79	38.110	245.3	38.110	245.3	245.3	245.3	245.3	245.3	245.3	74.008
平均	166.63	0.35	186.27	40.73	261.9	40.73	261.9	261.9	261.9	261.9	261.9	261.9	79.326

右表に示すか如く飼料費は七拾四圓貳拾錢八厘乃至八拾壹圓八拾四錢平均七拾九圓貳拾貳錢六厘を要せりこれを平均一日に要したる飼料費に換算せば夫々七拾七錢七厘、七拾七錢九厘及七拾錢七厘平均七拾五錢五厘なり又生體量一貫を増加するに要せる飼料費は夫々四圓參拾八錢九厘、四圓四拾六錢四厘及四圓九拾九錢一厘にして其の平均四圓六拾壹錢五厘なる

次に各供試牛か攝取せる榮養分及澱粉價は左の如し

第十二表 攝取可消化榮養分及澱粉價

供試牛	全乾燥物	粗蛋白質	粗脂肪	無窒素浸出物及粗纖維	純蛋白質	澱粉	價
第一號	334.800	197.33	70.58	228.73	175.54	133.100	133.100
第二號	335.300	197.77	71.11	229.08	176.01	133.416	133.416
第三號	102.401	17.913	6.334	126.99	15.941	12.906	12.906
平均	257.500	158.003	48.338	178.271	135.517	106.472	106.472

第十三表 生體量一貫増加に要せし榮養分及澱粉價

供試牛	全乾燥物	粗蛋白質	粗脂肪	無窒素浸出物及粗纖維	純蛋白質	澱粉	價
第一號	110.86	106.0	38.0	69.2	94.4	76.94	76.94
第二號	112.92	107.9	38.8	70.38	96.0	78.33	78.33
第三號	137.55	110.5	42.6	78.69	107.1	87.38	87.38
平均	113.77	111.5	39.8	72.76	99.2	84.55	84.55

右に示すか如く供試牛三頭を平均し攝取せる全乾燥物は二百十八貫二百匁可消化榮養分は百五十四貫八百八十九匁純蛋白質十七貫三十二匁及澱粉價百三十八貫八百七匁にして同しく生體量一貫増加に要したる量は夫々十二貫七百十一匁、八貫七百八十九匁、九百九十二匁及八貫八十五匁なり

### 第七 屠殺及解體

屠殺及解體の方法並屠肉體の截切法は畜産試験場報告第一卷第三號牛の肥育に關する試験第一回及第二回所載の方法と同一なるを以て其の解説を省略す

#### 一 斷食後に於ける體量

牛の肥育に關する試験

肥育を終了せる供試牛の二十四時間斷食後に於ける體量の減耗を示せは左の如し

第十四表 斷食減體量

供試牛	斷食前體量	斷食後體量	斷食に依る減體量	斷食前體量に對する減體量百分率
第一號	103,100 <small>貫</small>	100,700 <small>貫</small>	2,500 <small>貫</small>	2.42%
第二號	104,300	101,900	2,600	2.49%
第三號	104,000	99,900	4,100	3.94%
平均	100,500	98,100	2,400	2.39%

右表に據るるきは供試牛三頭の斷食後に於ける生體量は平均九十八貫百忽斷食に依る減量は平均二貫四百忽にして斷食前の體量に對する減量の百分率は平均二・三九%なり

二 屠殺及解體時に於ける牛體各部重量

供試牛の屠殺解體成績は左の如し

第十五表 解體重量並生體量に對する各部重量百分率

生體量	解體各部重量				生體量に對する各部重量百分率			
	第一號牛	第二號牛	第三號牛	平均	第一號牛	第二號牛	第三號牛	平均
100,700 <small>貫</small>	101,700 <small>貫</small>	98,900 <small>貫</small>	98,100 <small>貫</small>	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%

枝肉量	肉脂肪	腎臟	腎臟	骨	骨	目	血液	皮	頭	肉	舌	骨	目	前足	後足	尾	内臟	食道	頭
55,860	43,555	2,390	1,600	8,350	1,450	3,900	3,500	1,750	4,250	7,800	1,950	1,950	1,100	600	600	2,100	26,100	110	50
53,400	41,125	2,375	1,600	8,550	1,100	3,600	3,500	1,700	4,300	6,500	2,000	2,000	1,100	600	600	2,100	23,050	100	0
50,100	39,015	2,200	1,200	7,000	1,300	3,400	3,000	1,500	4,100	6,100	1,650	1,500	1,000	600	600	2,000	20,900	100	0
53,153	41,232	2,475	1,470	7,967	1,333	3,438	3,333	1,667	4,100	6,833	1,867	1,867	1,133	600	600	2,090	22,994	103	57
52.51%	40.44%	2.34%	1.17%	8.41%	1.17%	3.33%	3.33%	1.67%	4.33%	6.46%	1.97%	1.97%	1.11%	0.60%	0.60%	2.11%	22.91%	0.10%	0.05%
54.62%	42.45%	2.89%	1.10%	8.61%	1.44%	3.74%	3.74%	1.69%	4.08%	6.64%	1.79%	1.79%	1.11%	0.65%	0.65%	2.14%	23.43%	0.11%	0.05%
54.18%	42.03%	2.51%	1.19%	8.11%	1.34%	3.50%	3.50%	1.80%	4.18%	6.95%	1.90%	1.90%	1.12%	0.66%	0.66%	2.10%	23.66%	0.10%	0.05%

牛の肥育に關する試験

目	膀胱(無内容)	生殖器	生殖器	脂肪腸	大腸(無内容)	小腸(無内容)	胃(無内容)	脾臟	肝臟	膽囊	肝臟	肺臟	心臟	從橫隔膜	氣管
減	二二四〇	(七〇)	一〇〇	二、四五〇	(一、七五〇)	(一、四〇〇)	(二、一〇〇)	三三〇	九〇	一〇〇	八五〇	六八〇	三〇〇	一一五〇	一五〇
	三、二七五	(六〇)	二五〇	二、四〇〇	(一、九〇〇)	(一、五〇〇)	(三、一〇〇)	三五〇	一〇〇	一〇〇	七六〇	六〇〇	四〇〇	九〇〇	一五〇
	二、三六一	(四〇)	三五〇	二、五五〇	(一、九〇〇)	(一、四〇〇)	(三、五〇〇)	三〇〇	七〇	三〇	一、〇〇〇	五五〇	四二〇	一一〇〇	八五
	二、五九二	(五七)	二六七	二、一三三	(一、三三〇)	(一、〇〇〇)	(三、七五〇)	三三三	八七	八三	八七〇	六一〇	三七三	一一一七	二一八
	二〇一三	(〇〇九)	〇二〇	二、〇九三	(一、四四)	(一、〇〇〇)	(四、〇七)	〇・三五	〇・九	〇・一	〇・八四	〇・六八	〇・三〇	一・二四	〇・一五
	三・三三	(〇・〇六)	〇・三五	二、二九〇	(一、七四)	(一、二〇)	(三、五九)	〇・三四	〇・一〇	〇・一一	〇・七五	〇・五九	〇・三九	〇・八八	〇・一五
	二・五七	(〇・〇四)	〇・三八	二、二七	(一、七三)	(一、一五)	(三、八二)	〇・三三	〇・〇八	〇・〇三	一・〇九	〇・六〇	〇・四六	一・三一	〇・二九
	二・六四	(〇・〇六)	〇・三七	二、二九	(一、七三)	(一、一五)	(三、八二)	〇・三四	〇・〇九	〇・〇八	〇・八九	〇・六三	〇・三八	一・一四	〇・一三

備考 目減は分解の際生したる減耗量とす

右表に據れば供試牛の平均生體量は九十八貫百匁其の平均枝肉量は五十三貫百五十三匁にして前

者に對する後者の百分率は五四・一八%なり

枝肉中の肉の平均量は四十一貫二百三十二匁にして平均生體量に對する百分率(以下同し)は四二・〇三%なり

腎臟脂肪の平均量は二貫四百七十五匁にして其の百分率は二五・二%なり

腎臟の平均量は百六十七匁にして其の百分率は〇・一七%なり

枝肉中の骨の平均量は七貫九百七十七匁にして其の百分率は八・一二%なり

枝肉截切の目減平均量は一貫三百十三匁にして其の百分率は一・三四%なり

屠殺の際放出したる血液の平均量は三貫四百三十八匁にして其の百分率は三・五〇%なり

皮の平均量は六貫八百二十二匁にして其の百分率は六・九五%なり

頭の平均量は四貫百匁にして其の百分率は四・一八%なり

頭肉の平均量は一貫六百六十七匁にして其の百分率は一・七〇%なり

舌の平均量は三百三十三匁にして其の百分率は〇・三四%なり

頭骨(角共)の平均量は一貫八百六十七匁にして其の百分率は一・九〇%なり

前足の平均量は六百五十匁にして其の百分率は〇・六六%なり

後足の平均量は六百五十匁にして其の百分率は〇・六六%なり

尾の平均量は百九十三匁にして其の百分率は〇・二〇%なり

内臓腎臓及腎臓脂肪を除く(の)平均量は二十九貫九十四匁にして其の百分率は二九六六%なり  
 内臓分解の目減平均量は二貫五百九十二匁にして其の百分率は二六四%なり

三 二分體及四分體重量

今二分體及四分體の重量並に之か枝肉量及生體量に對する百分率を表示すれば左の如し

第十六表 二分體及四分體重量

供試牛	前四分體			後四分體			二分體	
	右	左	計	右	左	計	右	左
第一號	九,〇〇〇 <sup>貫匁</sup>	九,二五〇 <sup>貫匁</sup>	一八,二五〇 <sup>貫匁</sup>	一八,五四七 <sup>貫匁</sup>	一九,〇六三 <sup>貫匁</sup>	三七,六一〇 <sup>貫匁</sup>	二七,五四七 <sup>貫匁</sup>	二八,三三三 <sup>貫匁</sup>
第二號	九,一〇〇	九,二五〇	一八,三五〇	一七,三八二	一七,六六八	三五,〇五〇	二六,四八二	二六,九一八
第三號	七,九五〇	八,五〇〇	一六,四五〇	一六,三二一	一七,四三九	三三,七五〇	二四,二六一	二五,九三九
平均	八,六八三	九,〇〇〇	一七,六八三	一七,四二三	一八,〇五七	三五,四七〇	二六,〇九六	二七,〇五七

第十七表 枝肉量に對する二分體量及四分體重量百分率

供試牛	前四分體			後四分體			二分體	
	右	左	計	右	左	計	右	左
第一號	一六・二%	一六・五%	三三・七%	三三・〇%	三四・一%	六七・三%	四九・三%	五〇・六%
第二號	一七・〇%	一七・三%	三四・三%	三三・五%	三三・〇%	六五・六%	四九・五%	五〇・四%

第三號	前四分體			後四分體			二分體	
	右	左	計	右	左	計	右	左
平均	一五・八	一六・九	三二・七	三二・四	三四・四	六七・三	四八・三	五一・六

右表に據れば前四分體後四分體の枝肉量に對する百分率は夫々三三・二七%六六・七三%なり  
 第十八表 生體量に對する二分體量及四分體重量百分率

供試牛	前四分體			後四分體			二分體	
	右	左	計	右	左	計	右	左
第一號	八・九四%	九・一九%	一八・一三%	一八・四三%	一八・九三%	三七・三五%	二七・三六%	二八・二二%
第二號	八・九五%	九・二〇%	一八・〇四%	一七・〇九%	一七・三七%	三四・四六%	二六・〇四%	二六・四七%
第三號	八・六五%	九・二五%	一七・九〇%	一七・七五%	一八・九八%	三六・七三%	二六・四〇%	二八・三三%
平均	八・八五%	九・一七%	一八・〇三%	一七・七五%	一八・四二%	三六・一六%	二六・六〇%	二七・五八%

四 枝肉中の肉及骨重量

右表に據れば前四分體後四分體の生體量に對する百分率は夫々一八・〇三%三六・一六%なり  
 枝肉中の肉ミ骨ミを分ち其の重量を枝肉量に對比するときは左の如し

第十九表 枝肉中の肉及骨重量



供試牛	肉		骨		目		減		肉		枝肉量ニ對スル%	
	枝	肉	骨	目	肉	目	肉	目	肉	骨	目	減
第一號	四六、〇一五	八、三五〇	一、四〇五	一、一九〇	五五、八六〇	八二、五四	一四、九五	二、五三				
第二號	四三、六六〇	八、五五〇	一、一九〇	一、一四〇	五三、四〇〇	八一、七六	一六、〇一	二、三三				
第三號	四一、八五五	七、〇〇〇	一、三四五	一、四四五	五〇、二〇〇	八三、三八	一三、九四	二、六八				
平均	四三、八七三	七、九六七	一、四一三	一、三二三	五三、一五三	八二、五四	一四、九六	二、四七				

備考 肉量中には腎臓及腎臓脂肪量を含む(第十五表参照)

右表に據れば枝肉量に對する平均肉量及骨量の百分率は夫々八二・五四%、一五・〇%にして骨肉分解の際生せる目減量は同しく二四・七%なりとす

五 枝肉中の肉片重量

枝肉は之を畜産試験場報告第一卷第三號牛の肥育に關する試験第一回及第二回所載同一方法に據りて截切し(第一圖版参照)各肉片を秤量し其の枝肉量に對する百分率を求むれば左表の如し

第二十表 前四分體肉片重量

肉片名稱	第一號牛			第二號牛			第三號牛		
	右	左	計	右	左	計	右	左	計
かたるうす	一、六〇〇	一、五〇〇	三、一〇〇	一、二九〇	一、五八〇	二、八七〇	一、三三〇	一、四四〇	二、七七〇
かたばら	五八〇	六二〇	一、二〇〇	五五〇	五五〇	一、一〇〇	四〇〇	四〇〇	八〇〇
みすぢ	四〇〇	三九〇	一、七九〇	四〇〇	四一五	八一五	三六〇	五〇〇	八六〇
しゃくしさんかく	五六〇	六一〇	一、一七〇	五四〇	五九五	一、一三五	四六〇	四七〇	九三〇
ぶりすけ	八七〇	一、〇七〇	一、九四〇	九二〇	一、一五〇	二、〇七〇	八八〇	八八〇	一、七六〇
たらがらし	二七〇	二七〇	五四〇	二九〇	二二〇	五七〇	二二〇	二四〇	四七〇
しゃくしはごいた	五四〇	五二〇	一、〇六〇	五二五	五〇〇	一、〇二五	五〇〇	五〇〇	一、〇〇〇
しゃくしこさんかく	一三〇	一三〇	二六〇	一四〇	一五〇	二九〇	一一〇	一一〇	二二〇
しゃくしすね	六九〇	七〇〇	一、三九〇	七四〇	七七〇	一、五一〇	六八〇	七二〇	一、四〇〇
しゃくしまはり	一、〇八〇	九六〇	二、〇四〇	八二五	七三〇	一、五五五	九四〇	九三〇	一、八七〇
けしやうあぶら	一一〇	一六〇	二八〇	一一五	一六〇	二七五	五〇	一一〇	一六〇
計	七、五八〇	七、六六〇	一五、二四〇	七、三三五	七、六〇〇	一四、九三五	六、六七〇	七、一四〇	一三、八一〇

第二十一表 後四分體肉片重量

肉片名稱	第一號牛			第二號牛			第三號牛		
	右	左	計	右	左	計	右	左	計
ぼんたま	二、一〇〇	二、〇〇〇	四、一〇〇	一、六五五	一、六六〇	三、三一五	一、九三五	二、一一〇	四、〇四五
計	一、〇一〇	一、〇〇〇	二、〇一〇	一、〇一〇	一、〇〇〇	二、〇一〇	八四〇	八三〇	一、六七〇

枝肉	肉片名稱	重 量				枝肉量に對する肉片其の他重量百分率 (第二圖版參照)			
		第一號牛	第二號牛	第三號牛	平 均	第一號牛	第二號牛	第三號牛	平 均
計		一五、三〇〇	一五、三〇〇	一五、三〇〇	一五、三〇〇	100%	100%	100%	100%
けんねん	けんねん	一、五〇〇	一、五〇〇	一、五〇〇	一、五〇〇	9.8%	9.8%	9.8%	9.8%
さき	さき	一、六〇〇	一、六〇〇	一、六〇〇	一、六〇〇	10.4%	10.4%	10.4%	10.4%
ろ	ろ	二、五〇〇	二、五〇〇	二、五〇〇	二、五〇〇	16.4%	16.4%	16.4%	16.4%
とも	とも	三、〇〇〇	三、〇〇〇	三、〇〇〇	三、〇〇〇	19.6%	19.6%	19.6%	19.6%
ひ	ひ	七、七〇〇	七、七〇〇	七、七〇〇	七、七〇〇	50.3%	50.3%	50.3%	50.3%
ろう	ろう	六、〇〇〇	六、〇〇〇	六、〇〇〇	六、〇〇〇	39.3%	39.3%	39.3%	39.3%
う	う	一、七〇〇	一、七〇〇	一、七〇〇	一、七〇〇	11.1%	11.1%	11.1%	11.1%
し	し	三、四〇〇	三、四〇〇	三、四〇〇	三、四〇〇	22.2%	22.2%	22.2%	22.2%
ら	ら	八、〇〇〇	八、〇〇〇	八、〇〇〇	八、〇〇〇	52.2%	52.2%	52.2%	52.2%
い	い	六、〇〇〇	六、〇〇〇	六、〇〇〇	六、〇〇〇	39.3%	39.3%	39.3%	39.3%
な	な	八、〇〇〇	八、〇〇〇	八、〇〇〇	八、〇〇〇	52.2%	52.2%	52.2%	52.2%
す	す	三、六〇〇	三、六〇〇	三、六〇〇	三、六〇〇	23.5%	23.5%	23.5%	23.5%
は	は	三、九〇〇	三、九〇〇	三、九〇〇	三、九〇〇	25.5%	25.5%	25.5%	25.5%

第二十二表 枝肉量に對する肉片其の他重量百分率 (第二圖版參照)

枝肉	肉片名稱	重 量				枝肉量に對する肉片其の他重量百分率			
		第一號牛	第二號牛	第三號牛	平 均	第一號牛	第二號牛	第三號牛	平 均
く	く	一、四八〇	一、七〇〇	一、五四〇	一、五七三	3.0%	3.0%	3.0%	3.0%
か	か	三、〇〇〇	二、八七〇	二、七六〇	二、九一〇	5.3%	5.3%	5.3%	5.3%
か	か	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	1.0%	1.0%	1.0%	1.0%
み	み	七、七〇〇	八、一五〇	八、八〇〇	八、二一八	21.5%	21.5%	21.5%	21.5%
し	し	一、七〇〇	一、三三〇	九、〇〇〇	一、〇七八	2.9%	2.9%	2.9%	2.9%
ぶ	ぶ	一、九四〇	二、〇七〇	一、七六〇	一、九三〇	5.4%	5.4%	5.4%	5.4%
た	た	五、四〇〇	五、七〇〇	四、七〇〇	五、二七〇	14.7%	14.7%	14.7%	14.7%
し	し	一、〇五〇	一、〇一五	一、〇〇〇	一、〇三三	2.7%	2.7%	2.7%	2.7%
し	し	二、六〇〇	二、九〇〇	二、二〇〇	二、五三七	7.3%	7.3%	7.3%	7.3%
し	し	一、三九〇	一、五三〇	一、四〇〇	一、四四〇	4.1%	4.1%	4.1%	4.1%
し	し	二、〇四〇	一、五五五	一、八七〇	一、八二三	5.2%	5.2%	5.2%	5.2%
し	し	二、〇四〇	二、七五	一、六〇	二、二八	6.4%	6.4%	6.4%	6.4%
ば	ば	四、一八〇	三、二七五	四、〇四五	三、八三三	10.5%	10.5%	10.5%	10.5%
し	し	二、〇一〇	二、〇一〇	一、七七〇	一、八九七	5.1%	5.1%	5.1%	5.1%
は	は	七、七〇	八、九〇	六、八〇	七、七七	20.4%	20.4%	20.4%	20.4%
す	す	七、四〇	七、八〇	六、四〇	七、二〇	19.6%	19.6%	19.6%	19.6%
な	な	一、六七〇	一、六三〇	一、四〇〇	一、五七〇	4.1%	4.1%	4.1%	4.1%
い	い	一、二八五	八、九〇	一、一〇	一、二一八	3.1%	3.1%	3.1%	3.1%
ら	ら	一、六五〇	一、六七〇	一、五〇	一、六三九	4.3%	4.3%	4.3%	4.3%

牛の肥育に關する試験



肉片名稱	等級	單價 百匁	枝肉中各肉片重量及價額					
			第一號牛	第二號牛	第三號牛			
			重量 匁	價額 円	重量 匁	價額 円	重量 匁	價額 円
くびつる	五等	四〇	一、八〇〇	一、七〇〇	一、五〇〇	六、一六〇	一、五七三	六、二九〇
ばら及かたろうす	二	七〇	四、三〇〇	三、九七〇	三、五八〇	一五、〇〇六	三、九五〇	二七、〇六五
みすぢ	四	六〇	七九〇	八一五	八八〇	五、二八	八二八	四、九七
しやくしさんかく	三	七〇	一、七〇〇	一、三三五	九三〇	六、五一	一、〇七八	七、五五
ぶりすけ	四	四五	一、九四〇	二、〇七〇	一、七六〇	七、九二	一、九三三	八、六六五
たうがらし	三	七〇	五四〇	五七〇	四七〇	三、二九	五二七	三、六九
しやくしはごいた	三	七〇	一、五〇〇	一、〇一五	一、〇〇〇	七、〇〇	一、〇三三	七、一五
しやくしこさんかく	四	五五	二六〇	二九〇	二二〇	一、二二	二五七	一、四一
しやくしすね	五	二八	一、三九〇	一、五三〇	一、四〇〇	三、九二	一、四四〇	四、〇〇
しやくしまはり	五	二八	二、〇四〇	一、五五五	一、八七〇	五、二四	一、八三三	五、一〇
けしやうあぶら	一	二二	二、八〇	二、七五	一、六〇	一、九	二三八	二九
ぼら	四	六〇	四、一〇	三、二七五	四、〇四五	二四、二七	三、八三三	二三、〇〇
しんたま	二	八〇	二、〇一〇	二、〇一〇	一、六七〇	一三、三六	一、八九七	一五、一八
はばき	四	六〇	七九〇	八九〇	六八〇	四、〇八	七七七	四、七
すね	五	三五	七四〇	七八〇	六四〇	二、二四	七〇	二、五二
なかく及いちぼ	三	七〇	二、九五五	二、五二〇	二、五九〇	一八、一三	二、六八八	一八、〇

枝肉一貫匁平均價額	計(枝肉)	(目減)	枝肉の各肉片中最高價額はロウス(四拾九圓貳拾參錢)にしてバラ及カタロウス、ウチモ						
			らん	ら	ら	ら	ら	ら	ら
一、六五〇	ら	二	一、六五〇	一、四〇二	一、六七〇	一、四〇二	一、五二〇	一、二八四	一、三六九
六〇	ら	四	七一〇	四、二六	七八〇	四、六八	七五〇	四、五〇	七四七
七五	ら	三	三、三八〇	二、五三五	三、五六〇	二、六七〇	三、一四〇	三、三五五	二、五〇〇
四五	ら	五	一、二四〇	五、五八	一、〇〇	四、九五	四、四一	一、〇七	四、九八
一、〇〇	ら	一	一、四七〇	一、七六四	一、四四〇	一、七二八	一、一〇	一、三四三	一、六〇八
七五	ら	二	六七〇	五、〇三	六五五	四、九一	六四〇	四、八〇	六五五
二	ら	二	五、一一〇	五、一〇〇	五、〇〇〇	四、六一〇	四、六一〇	四、九三	四、九三
一〇〇	ら	一	三、四一〇	二、三三七	二、四七〇	一、七二九	二、八四〇	一、九八八	二、〇三五
七〇	ら	二	二、五五〇	三、八三	二、五三五	三、八一	二、八四〇	四、二六	二、六四二
一五	ら	一	八、三五〇	八、四	八、五五〇	八、六	七、〇〇〇	七、〇	七、九六七
一	ら	一	一、三五〇	一、四〇	一、一九〇	一、三〇	一、三〇	一、三〇	一、三〇
一	ら	一	五、八六〇	三、〇三六八	五、三、四〇〇	二、八五〇三	五、〇、一〇〇	二、六八、三	五、一、五三
五、四四	計		五、四四	五、四四	五、四四	五、四四	五、四四	五、四四	五、四四

八 頭皮、内臓、足、血液及尾價額

右表に據れば枝肉の各肉片中最高價額はロウス(四拾九圓貳拾參錢)にしてバラ及カタロウス、ウチモモ、バラ等順次之に次ぎ枝肉の總價額は平均貳百八拾四圓七拾錢にして一貫匁當り五圓參拾六錢なり

枝肉以外の頭皮、内臓、腎臓及腎臓脂肪を除く前後足、血液及尾の價額につきても各頭並に平均の重量

牛の肥育に關する試験

に單價を乘したるもの及各合計價額を表示すれば左の如し

第二十五表 頭、皮、内臓、足、血液及尾價額

名	稱	單價	第一號牛		第二號牛		第三號牛		平均	
			重量	價額	重量	價額	重量	價額	重量	價額
頭	肉	一貫匁 一・五〇	一七五〇	二・六三	一七〇〇	二・五〇	一五五〇	二・三三	一六六七	二・五〇
頭	骨	一貫匁 八	一、八四〇	一・五	一、八九〇	一・五	一、五四〇	一、四四〇	一、七五七	一・四
角		一頭分 二〇	一一〇	一〇	一一〇	一〇	一一〇	一〇	一一〇	一〇
舌		一頭分 八	三五〇	八〇	三五〇	八〇	三〇〇	八〇	三三三	八〇
皮		一貫匁 一・〇〇	七、八〇〇	七・八〇	六、五六五	六・五七	六、一〇〇	六・一〇	六、八三三	六・八二
内臓	(腎臓及腎臓脂肪を除く)	一頭分 三・五〇	二八、一九〇	三・五〇	三二、〇四五	三・五〇	二七、〇四六	三・五〇	二九、〇九四	三・五〇
前	足	一頭分 三〇	六〇〇	二〇	七五〇	二〇	六〇〇	二〇	六五〇	二〇
後	足	一頭分 二四	六〇〇	二四	七五〇	二四	六〇〇	二四	六五〇	二四
血液		十貫匁 二	三、一九〇	一	三、六九〇	一	三、四三四	一	三、四三八	一
尾		一頭分 四〇	二一〇	四〇	二一〇	四〇	一七〇	四〇	一九三	四〇
計			一五・八三	一四・五三	一四・五三	一三・八〇	一三・八〇	一四・七二	一四・七二	一四・七二

右表に據れば價額の最高は皮(六圓八拾貳錢)にして内臓頭肉等順次之に次ぎ合計總價額に於ける平均は拾四圓七拾壹錢なり

以上肥育牛生體評價額、肉片小賣價額及枝肉以外の各部價額の算定は大正十一年四月十日に於ける東京市場の相場に據る

九 枝肉及肉片品質 (第三圖版参照)

枝肉の重量は前回の試験に於ける和牛に比し小にして形狀は體長ミ體深ミの釣合良好なれども後軀は前軀に比し比較的輕小なり又枝肉量に對する肉量の百分率は平均七七・五七%同しく骨量の百分率は平均一四・九九%にして和牛に比し枝肉量に對する肉の割合概して少なく骨の割合多きを見る又肉に對する脂肪の割合少なく且筋組織間に於ける脂肪の網狀分布の状態は前回試験の肥育牛の如く周密ならず肉は鮮紅色、脂肪は白色を帯ひ美觀を呈すれども風味の點に於ては前回の肥育牛に比し少々劣るものゝ如し

第八總括

- 本肥育試験に於ける三頭平均の成績を要約すれば左の如し
- 一 本試験に於て全期間を通し一日に採食せる飼料は乾草八百四十六匁稻藁十八匁米糠百六匁玉蜀黍一貫三百五十二匁及大豆粕六十三匁なり
  - 二 右の飼料に依り平均一日に攝取せる可消化有機營養物は全乾燥物二貫七十八匁粗蛋白質百八十二匁粗脂肪六十五匁可溶無窒素物及粗纖維一貫百九十匁純蛋白質百六十二匁にして其の澱粉價

- は一貫三百二十二匁榮養率は一對七・三二なり
- 三 平均一日に要したる飼料費は七拾五錢五厘なり
- 四 供試牛は平均原體量八十一貫四百八拾九匁にして肥育の結果體量十七貫二百六十七匁を増加し原體量の二一・一%の増率に當る而して平均一日の増體量は百六十四匁なり
- 五 増體量一貫匁に要したる飼料價額は其の採食量に依り計算するときは四圓六拾壹錢五厘に當る
- 六 體量一貫匁を増加するに要せる澱粉價は八貫八十五匁なり
- 七 體量一貫匁を増加するに要せる全乾燥物は十二貫七百十一匁なり
- 八 體量一貫匁を増加するに要せる可消化有機榮養分は八貫七百八十九匁なり
- 九 生體量に對する斷食後減耗量の百分率は二・三九%なり
- 十 生體量に對する枝肉量の百分率は五四・一八%なり
- 十一 枝肉量に對する二分體量の百分率は右四九・一〇%左五〇・九〇%なり
- 十二 枝肉量に對する前四分體量の百分率は右一六・三四%左一六・九三%計三三・二七%なり又枝肉量に對する後四分體量の百分率は右三二・七六%左三三・九七%計六六・七三%なり
- 十三 枝肉量に對する肉量腎臟及腎臟脂肪を含むの百分率は八二・五四%枝肉量に對する腎臟脂肪量の百分率は四・六六%枝肉量に對する骨量の百分率は一四・九九%なり
- 十四 肥育牛生體評價は枝肉量四百三十三英斤百英斤單價五拾八圓五拾錢其の價額貳百五拾貳圓九拾錢と評定したり

錢と評定したり

十五 枝肉量は五十三貫百五十三匁約四百四十三英斤小賣價額貳百八拾四圓七拾錢となり平均一貫匁につき五圓參拾六錢に當れり

十六 頭、皮、內臟、足、血液及尾の小賣總價額は拾四圓七拾壹錢なり

十七 枝肉及肉片品質に就ては骨の割合多く從て肉及脂肪の割合少く、肉に對する脂肪の割合は小なるのみならず筋組織間に於ける脂肪の網狀分布周密ならず品質は前回の肥育牛に比し稍々劣るもの、如し

附記

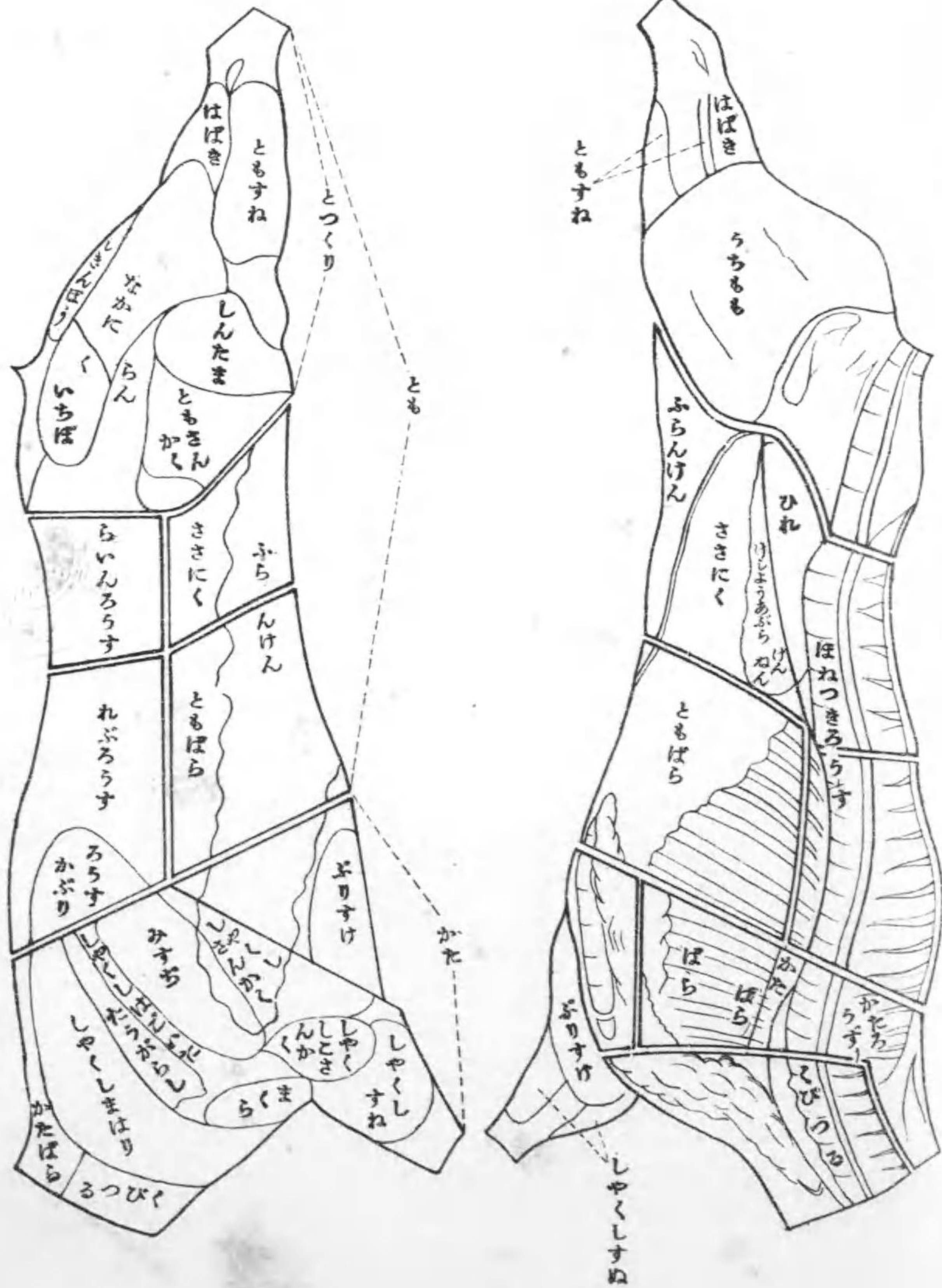
本試験施行に當り當時甚大なる助力を與へられし中江、角田兩技師、工藤技手、關根茨城縣技師、江澤、北里、衛藤、水尾、和住各助手及肉商吉田、岸上、土屋各氏に著者は深厚の謝意を表せらる茲に本號を印刷するに當り一言附記す

# 第一圖版

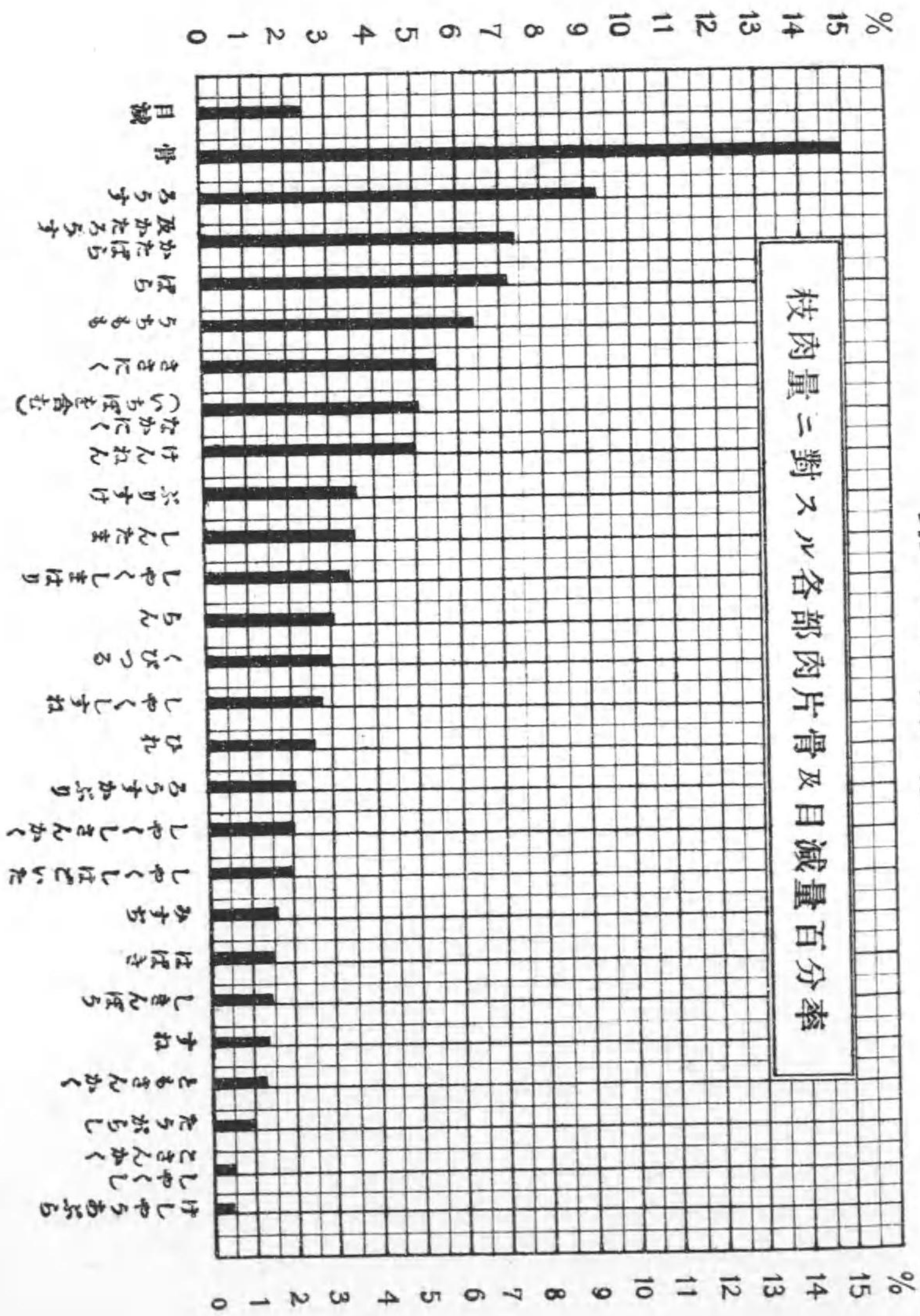
## 屠肉體ノ内外面大割肉片名稱

屠肉體ノ外面

屠肉體ノ内面



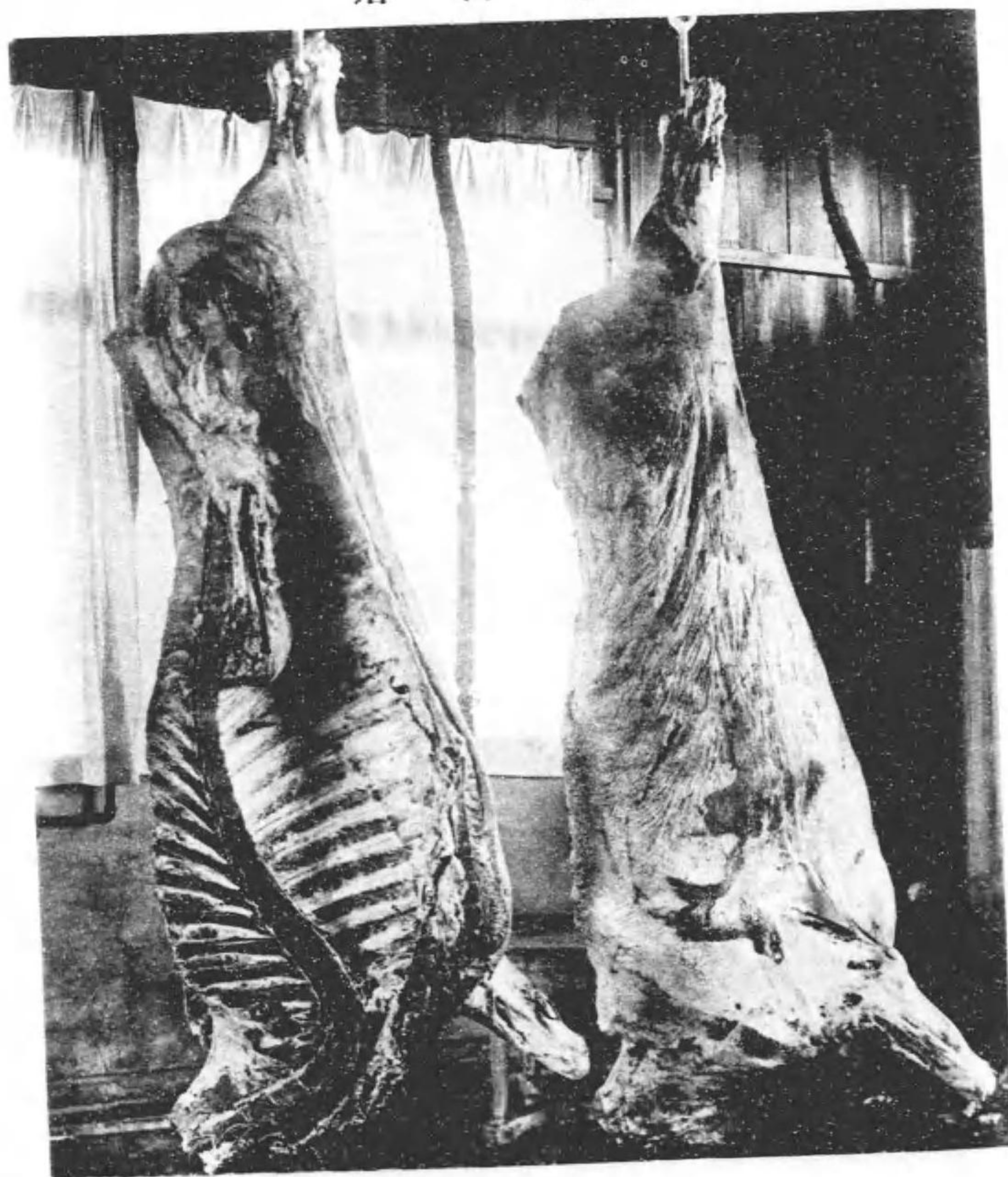
## 第二圖版





# 第三圖版

## 屠肉體



二分體橫斷面

昭和二年八月二十五日印刷  
昭和二年八月三十日發行

# 農林省畜產試驗場

(千葉縣千葉郡都村)

東京市芝區今入町拾番地

印刷者 飯山俊高

東京市芝區今入町拾番地

印刷所 研文社印刷所

電話銀座一七六番

東京市赤坂區溜池町一番地

賣捌所

中央畜產會

振替口座

東京三一四五九番  
長野三二一三番

14.2  
581

終